

世界に広がる大気社

大気社は海外19か国に40社の連結子会社を有しています。



拠点紹介



TKS Industrial Company (大気社アメリカ)

1981年、日系自動車メーカー各社の相次ぐ北米進出を受けて、当社の連結子会社として設立された大気社アメリカは、今年で40周年を迎えます。同社は一貫して現地に根ざした事業活動を推進し、日系企業をはじめビッグスリーの塗装工場を手掛けるなど、豊富な施工実績を積み重ねてきました。2014年には航空機塗装の技術を有するEncore Automation LLC社と業務・資本提携を行い、順調に事業を拡大しています。

近年は大型トラックをはじめ、インターネット通販の普及で需要増が期待される中型トラック、カーボンニュートラルを視野に入れた電気自動車(EV)など、さまざまな自動車メーカーに塗装システムを提供しています。急速な環境変化が進む時代、大気社アメリカは常にユニークで革新的な技術やサービスを提供できるよう、引き続き努力していきます。



大気社アメリカ 本社オフィス

FOCUS

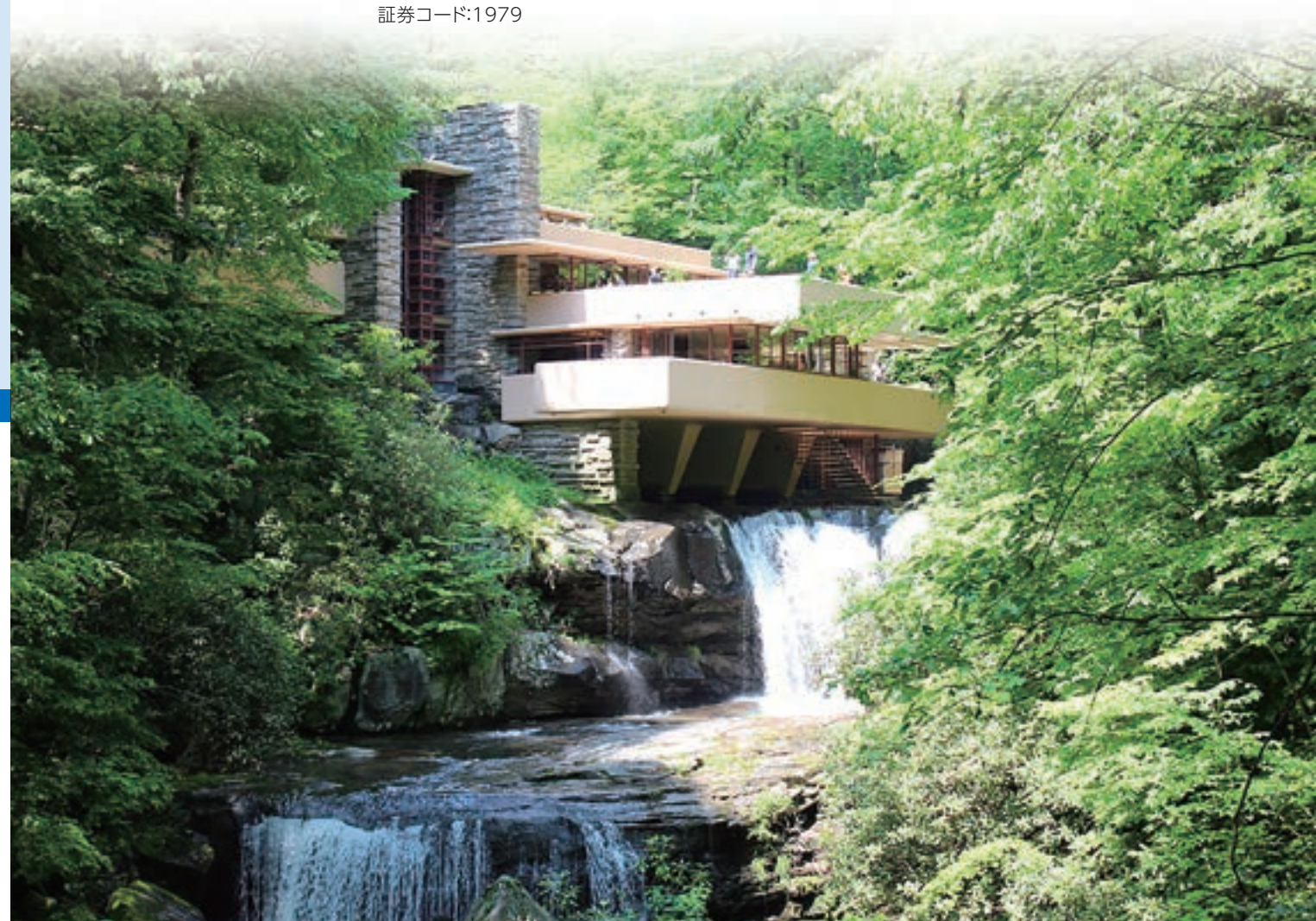
2020年の米国の新車販売台数は、前年比14.5%減となったものの、年の後半からは小型トラックを中心とした個人消費が伸び、主要専門機関の予測を超える速度で回復に向かいました。背景には新型コロナウイルスによる公共交通機関離れや、ワクチン接種の促進による景気回復が挙げられます。こうした流れを受け、2021年は底堅い伸びが期待される一方、世界的な半導体チップ不足や在庫の問題から、新車販売台数は1,550~1,650万台に止まると予想されています。

大気社アメリカは、従来の活動に加え、今後は米国の気候変動対策の柱である電気自動車(EV)分野にも着目し、企業による新規事業投資や設備更新に伴う投資を積極的に取り込み、売上拡大を目指します。

株式会社 大気社

証券コード:1979

環境をつくる技術は、未来をつくる技術。



この写真は大気社の海外拠点があるアメリカの世界遺産、フランク・ロイド・ライトの20世紀建築作品群の一つ、落水荘(カウフマン邸)です。アメリカの拠点については、裏表紙をご覧ください。

株式会社 大気社

〒160-6129 東京都新宿区西新宿8-17-1 住友不動産新宿グランドタワー
TEL:03-3365-5320(代) FAX:03-5338-5195
<https://www.taikisha.co.jp>



第77期
第2四半期

株主通信

2021.4.1 ▶ 2021.9.30

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、このたび当社第77期第2四半期連結累計期間（2021年4月から2021年9月まで）を終了しましたので、概況につきましてご報告申し上げます。

代表取締役社長 加藤 孝二

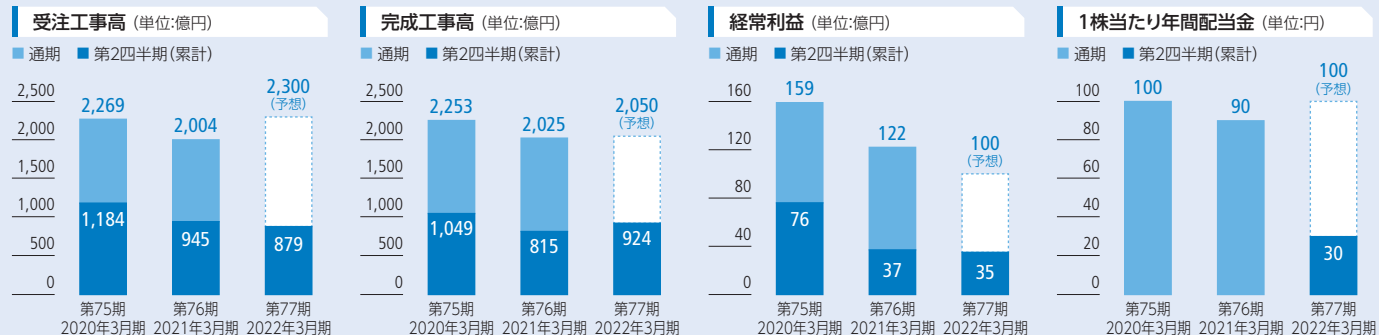


当第2四半期連結累計期間の事業環境について

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、欧州や米国など先進国では新型コロナウイルス感染症のワクチン接種の進行に伴い持ち直しの動きが広がりましたが、新型コロナウイルス感染症の再拡大、原材料価格の高騰や半導体供給の不足等により、先行きの不透明感が増しました。中国では好調な輸出を背景に、製造業を中心とした景気回復が続いていましたが、回復ペースはやや鈍化しました。また、東南アジアでも新型コロナウイルス感染症の再拡大により回復ペースが鈍化しました。日本経済においては企業の設備投資、生産および輸出ともに持ち直しが見られました。

当社グループにおける市場環境のうち国内市場では、首都圏におけるオフィスビルの建設需要が好調であり、医薬品メーカーや電子部品メーカーなどによる投資も堅調に推移しました。一方、海外市場では、新型コロナウイルス感染症の影響による不透明感が続いています。

業績ハイライト



当第2四半期連結累計期間の業績について

大気社グループにおける当第2四半期連結累計期間の業績について、受注工事高は国内で増加したものの、海外で減少し、879億29百万円(前年同期比7.0%減少)となり、うち海外の受注工事高は、333億23百万円(前年同期比32.8%減少)となりました。

完成工事高は、国内、海外ともに増加し、924億13百万円(前年同期比13.3%増加)となり、うち海外の完成工事高は、442億72百万円(前年同期比29.7%増加)となりました。

利益面につきましては、完成工事総利益は130億9百万円(前年同期比30百万円増加)、営業利益は27億63百万円(前年同期比4億28百万円減少)、経常利益は35億58百万円(前年同期比1億54百万円減少)、親会社株主に帰属する四半期純利益は16億87百万円(前年同期比13億83百万円減少)となりました。

中期経営計画の進捗について

2020年3月期から2022年3月期までの3か年における当社グループの中期経営計画の進捗について、ご報告申し上げます。当社は今後もすべてのステークホルダーから高い信頼と評価を得られるよう、経営目標達成のために全力を尽くしてまいります。引き続き変わらぬご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

戦略	進行中の主な取り組み
付加価値の向上 ～省エネ・省コスト・環境対応技術や自動化技術など	高塗着効率塗装システムの開発・商品化 CO ₂ 削減につながる、高塗着効率塗装システムの開発・商品化を推進中。
研究所の拡充・活用 ～技術開発力の強化と技術の見える化による提案力の強化	技術開発センター(愛川)の実証センター化 環境システム事業関連技術の顧客への提案を行う見学施設として再構築を検討中。
IoT・AIなどを活用 ～新たなソリューションの開発推進	予兆保全と品質解析システムの開発・事業化 IoT・AIを活用して稼働停止や品質不良発生時の要因解析を行うシステム「i-Navistar」の導入拡大に向け営業活動推進中。
生産性向上	各種業務の効率化・自動化 図面の自動作画や原価管理のシステムの開発、3D図面及びBIM化の促進、積算・プロジェクト管理等の自動化。 経費精算システムの導入 経費精算システムの導入を検討中。システム導入によりペーパーレス化及び業務プロセスの効率化を実現。
新規事業の拡大 ～植物工場事業や自動車以外の大型自動塗装事業など	航空機・鉄道車両、一般産業向け自動研磨装置及び100%塗着効率塗装ガンの開発・事業化 受注拡大に向け営業活動推進中。
未進出国への事業エリア拡大	未進出国への拠点設立の検討 今後の投資が期待できる地域への新規拠点設立を検討中。
多様な人材の活用による人的資源と組織力の増強	多様な人材の採用と活用 IT知識や海外経験など多様なバックグラウンドを持つ新卒人材の採用を、性別や国籍を問わず質・数ともに高い水準にて継続する。あわせて、多様な事業ニーズに応えるため、多彩な即戦力人材を中途採用市場から積極的に獲得し活用する。女性活躍に向けた一連の施策は完了したが、今後さらに一段と踏み込んだ女性活躍を推進するため、処遇・福利制度の充実を図るとともに、出産・育児期のキャリア形成の停滞を低減するための施策を検討し順次実施していく。 当社の社会的価値向上のための人材能力の向上 若手社員の早期育成を図るとともに、上位職者の経営能力の向上と高付加価値事業・市場領域開拓に資する高度専門人材の育成と活用に向けた諸施策を導入し推進する。
コーポレート・ガバナンス体制の強化 ～取締役会の経営監督機能の向上、資本コストを意識した経営など	資本コストや資本・配当政策に関する検討の深化 企業価値向上を目指し、資本コストを意識した経営や資本・配当政策に関する検討を推進中。
国内外における内部統制体制の強化	内部統制体制の強化 グループ全体のITを健全に維持・監督する内部統制体制の強化に向けた対応を検討中。
グローバルなリスク管理体制の拡充 ～法務リスク、情報セキュリティ、コンプライアンスなど	グローバルな情報セキュリティ対策の強化 関係会社における情報セキュリティ対策の強化を検討中。



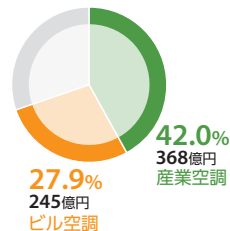
環境システム事業部

経営資源の重点配分とお客さまへの積極的な提案活動により、さらなる受注拡大を目指します。

当事業部は、クリーンルームなど工場向けの空調設備を設計・施工する産業空調分野と、オフィスビルなどの空調設備を設計・施工するビル空調分野を国内外で展開しています。

今後の取り組みとしては、研究所の拡充・活用により技術開発力を強化し、技術を見える化することで、お客さまへの積極的な提案活動を推進します。また、植物工場事業をはじめとした新規事業や、海外市場で今後投資が期待できる未進出国への事業エリア拡大など、事業領域の拡大を目指していきます。

● 環境システム事業部受注高
累計期間:2021.4.1~2021.9.30



Green Technology System Division

東日本放送の新社屋が竣工

2021年2月、仙台市の副都心・あすと長町に東日本放送の新社屋が竣工しました。最新の放送設備機器や地域交流の場を備える本施設において、当社は消音に配慮した空調・給排水衛生設備を請け負いました。テレビ朝日系列の同局では、新社屋から9月20日より放送を開始しています。



塗装システム事業部

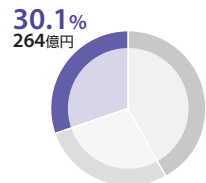
経営資源の重点配分と海外グループ会社との連携により、さらなる受注拡大を目指します。

当事業部は、国内外の自動車メーカーを主要なお客さまとして、自動車塗装プラントの設計・施工を行い、この分野で世界トップクラスの売り上げを誇ります。

今後の取り組みとしては、成長性が見込まれる事業分野や市場に対して経営資源を重点的に配分し、より効率的に対応できる組織づくりを行います。

また、海外グループ会社との連携や研究所の拡充・活用により、非日系自動車メーカーのニーズへの対応力強化や、航空機・鉄道車両のような自動車以外の塗装設備事業など、事業領域の拡大にも積極的に取り組んでいきます。

● 塗装システム事業部受注高
累計期間:2021.4.1~2021.9.30



Paint Finishing System Division

エイエフティー株式会社
第一工場の復旧工事が完了

2021年7月、エイエフティー株式会社の第一工場において、塗装ラインの復旧工事が完了しました。当社は塗装設備・塗装ロボット・搬送設備を含む設備一式をフルターンキーで請け負い、短期間での生産ライン立ち上げを実現しました。本工場からはダイハツ工業株式会社向けに、自動車のバックドアを中心とした樹脂外板部品が供給されています。



自社植物量産工場からリーフレタスを出荷

当社の子会社であるベジ・ファクトリー社は、植物工場事業のプラント建設から野菜の生産・販売まで、一貫したソリューションを提供しています。今年2月の会社設立以来、同社では野菜生産販売の総合アグリ事業者として、新たなブランド構築を目指してきました。その取り組みの一つとして、埼玉・杉戸町の自社量産実証工場では、完全人工光型工場の運営ノウハウを蓄積することはもちろん、産業空調分野で培った独自の空調技術を生かし、自動化による無人生育システムや独自の水耕栽培システムにより、高品質かつ生菌数の少ない野菜の量産実証を行っています。また、本工場で栽培した野菜は、主にコンビニ向けとして業務用食品加工事業者へ販売を行っています。

杉戸工場では9月1日に念願の野菜の初出荷が行われ、150kgのリーフレタスが工場からお客さまのもとへ届けられました。今後も当社グループはロングライフ野菜の供給を通して、豊かで安全な食と健康の実現を推進し、持続可能な社会の発展に貢献していきます。



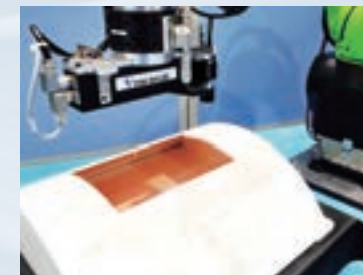
産業用ロボットへのプログラミングを自動で行うシステム「i-ART」を開発

当社が長年携わってきた自動車製造工場の塗装・研磨工程では、労務コストの削減や品質安定化の観点から、産業用ロボットを使った作業の自動化が一般化しています。しかしながら、自動車以外の製造現場においては、ロボットにプログラミングを施すこと(ティーチング)のできる専門技術者が少ない、作業数が多岐にわたりティーチングに膨大な時間を要する等の理由から、ほとんど自動化が進んでいないのが現状です。

こうした中、当社はこれまで培った塗装ロボットのティーチング技術・ノウハウを生かし、自動かつ短時間で、誰でも簡単にティーチング作業を行うことのできる支援ツール「i-ART」を開発しました。

「i-ART」は、被処理物の位置や形状を3Dスキャンすることで、塗装・研磨工程に必要なロボットの動きをアルゴリズム化し、生産ラインを止めることなくティーチングすることが可能です。これにより専門技術者の労働負荷の低減や、有機溶剤等、人体に悪影響となる環境下での作業を自動化することができます。

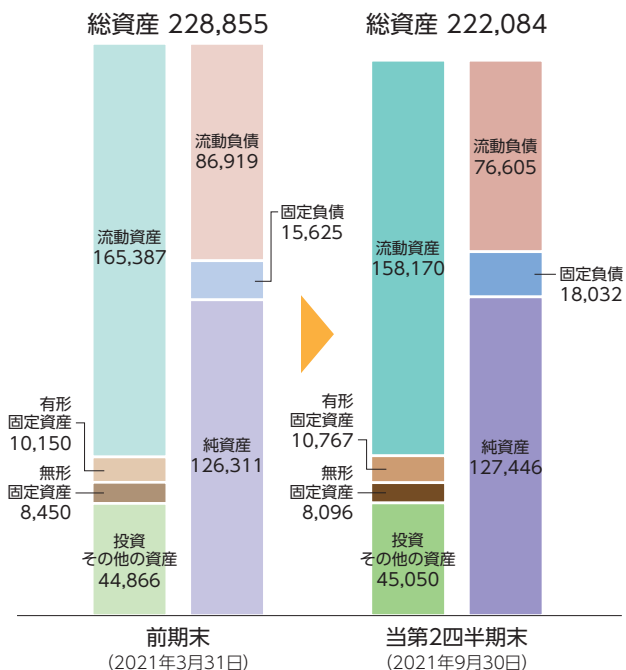
当社は今後も「エネルギー・空気・水」に関わるエンジニアリング企業として、お客さまの課題解決に取り組むとともに、持続可能な社会の実現に貢献していきます。



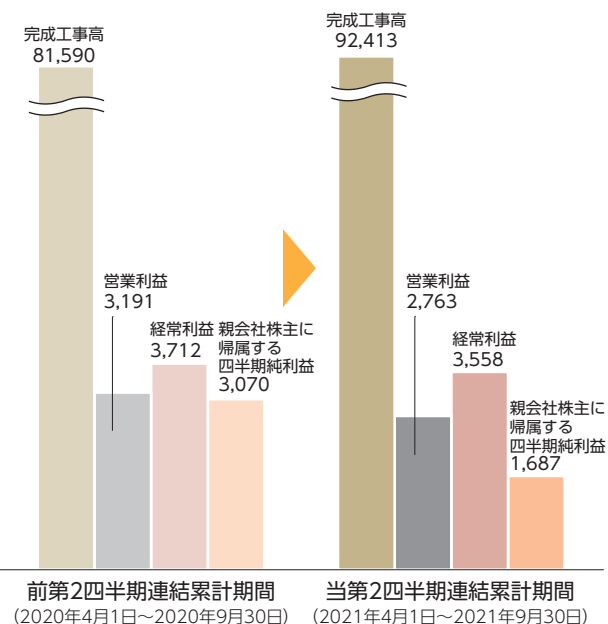


連結財務諸表

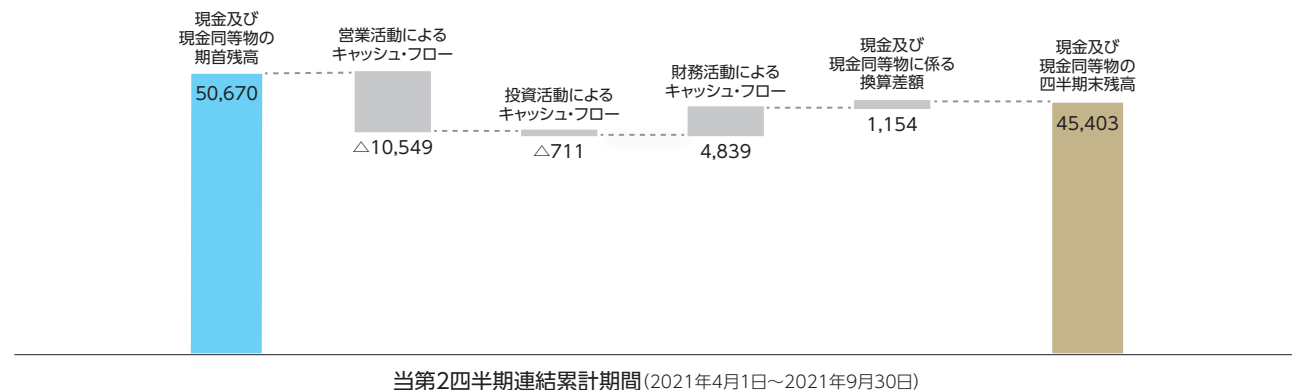
連結貸借対照表の概要 (単位:百万円)



連結損益計算書の概要 (単位:百万円)



連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (単位:百万円)



株主情報

会社概要 (2021年9月30日現在)

商号 株式会社 大気社 (Taikisha Ltd.)
 創業 1913年4月10日
 設立 1949年7月7日
 資本金 6,455百万円
 従業員数 (個別) 1,572名 (連結) 5,085名

グループ企業、取締役および監査役、株式情報については下記URLにてウェブサイトをご覧ください。
 【グループ企業】
<https://www.taikisha.co.jp/corporate/information/group/toppage> > 企業情報 > グループ企業

【取締役および監査役】
<https://www.taikisha.co.jp/corporate/information/officer/toppage> > 企業情報 > 大気社グループについて > 役員紹介

【株式情報】
<https://www.taikisha.co.jp/ir/stock/info/toppage> > 株主・投資家情報 > 株式・株主情報 > 株式情報

株主メモ

証券コード 1979
 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
 定時株主総会 毎年6月
 基準日 定時株主総会・期末配当 3月31日
 中間配当 9月30日
 その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。

単元株式数 100株
 株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目3番3号
 特別口座の口座管理機関 みずほ信託銀行株式会社
 事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目3番3号
 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
 郵便物送付先 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
 電話お問合せ先 ☎ 0120-288-324 (フリーダイヤル)
 公告方法 電子公告により行います (当社ウェブサイトに掲載)。
 ただし電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

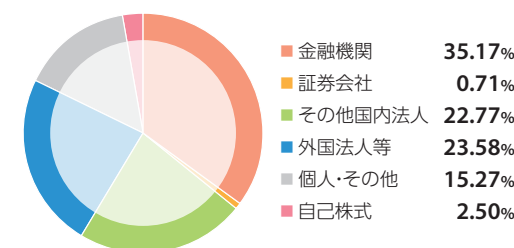
株式状況 (2021年9月30日現在)

発行可能株式総数 100,000,000株
 発行済株式の総数 35,082,009株
 株主数 3,291名

大株主 (所有株式数上位10名)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	4,978	14.55
株式会社建材社	1,730	5.06
株式会社日本カストディ銀行 (信託口9)	1,650	4.83
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	1,146	3.35
大気社協力会社持株会	1,075	3.14
ザバンク オブ ニューヨーク メロン (インターナショナル) リミテッド 131800	1,052	3.08
大気社社員持株会	1,034	3.03
株式会社第二建材社	1,000	2.92
住友不動産株式会社	981	2.87
日本生命保険相互会社	866	2.53

所有者別株式分布状況 (株式数比率)



(注) 1.当社は、自己株式877,559株を保有しておりますが、上記の大株主からは除いております。
 2.持株比率は、自己株式を控除して計算しております。
 3.[持株数]は千株未満を切り捨てて表示しております。